明倫ゼミナー

過去最高実績の秘訣は手厚い い進路指導にあり

かできないこと」 ネッ の活用で 社員は ハする

高校部責任者

成績だけでは決められない 同校生の進路は

合わせて指導しています。映像授業を予習と 高校部はウイングネットと個別指導を組み 行い、 段から生徒や保護者と信頼関係を えています。弊社ではこの「人」が や理解度、成績管理をスタッフ 指導で補完する形です。進捗状況 行う部分を特に重視しており、 して活用し、足りない部分を個別 定期テストや大学入試に備 が

自分、将来を決めるのが大思わないでもないですが、 性、将来を見据えた上でないと決 構築する努力をしています。 上げて上位の大学へ行かせたいと められません。塾としては成績を の進路は自分のやりたいことや個 り込める高校受験と違い、高校 成績だけである程度志望校を絞 将来を決めるのが大学受験

明倫ゼミナール 松田直丈 高校部責任者

とに加え、 のでかなりシビアだと思います。 進捗の遅れや理解不足など数値で表れるこ 同じ言葉をかけても先生によって素 生徒の様子には常に気を配ってい 高校生は声

ので、保護者と生徒の間にうまく入れたら

志望校や通っている塾の名前さえ言えないと 言えないことをいろいろと抱え、友だちには

家族に言えないこともあ

張っています せん。目まぐるしく変化する受験制度につ ても次にすべきことが明確で過不足はありま いても弊社では情報へのアンテナをしっかり リングがしやすくなっています。講座を終え つまでにすればいいのかが明確で、スケジュー 共通テスト対策など、 ウイングネットではいち早 いつすればいいのか、

展開する55校舎は全て愛知県内にあり、

長

たることを不安視する保護者もいらっ

個別指導では大学生講師が指導に当

しゃいますが、弊社ではそれをあえてメ

地域の教育を支えてきた。生徒数の比

県名古屋市)が今年、創業45周年を迎える。明倫ゼミナール(毛受美由紀社長、愛知

みだと思います。

では生徒自身が 三脚の中学受験 と違い大学受験 られています。 なためいつも助け 信もとても迅速 保護者と二人

のはこのような手厚い進路指導にあると 過去最高の合格実績を出すことができた 受験生には何より心強いものです。昨年 ち取った経験に基づく先輩たちの指導は より理解し、明倫の指導で大学合格を勝

思っています。

この度ウイングネットに導入さ

の大山紗知氏に実際の活用法について詳し 松田直丈氏とMEIRIN高校館 星ヶ丘校

く伺った。

ウイングネットの

キュラムの提示や、

強化

したい学

現

AIは志望大学合格に必要なカリ れた高校生指導で活躍する生成 わせたハイブリッド授業だ。高校部責任者の 教材のウイングネットと個別指導を組み合 賜とのことだが、それを可能にしたのが映像

一人ひとりに寄り添った手厚い進路指導の

戻って来てくれています。明倫のことを

かつての塾生たちが講師として

地域に根ざして教育を支えてきたこと リットであると強調しています。

長年、

格実績を叩き出した。

校部が躍進しており、昨年は過去最高の合 率では小中学生がメインだが、ここ数年は高

大事です。ウイン行動できるかが 芯を持って考え、

る人間になるでしょう。 社会人になってからも自分で考えて行動でき レベルアップできるようになると、 を増やしていきたいと思っています。

9は豊田 いんの 進出も 市の高校部校舎を出も視野に

に乗って

とも連携

ループ会社

やし、

若手を育て、

く、地域に根ざし、

と思って いけたら

います。

今年も順次教室は増やしていく予定で県外 し、映像授業と個別指導に加え集団授業 高校部をテコ

伝える進路指導を行っています。 のためには何が必要か一人ひとりにしっかり 番良い選択をしてもらえるように、目標達成 ですから何よりも生徒の希望が第一です。一 高校生は空気を読まずダイレクトに態度に出 直に聞いたり聞かなかったり。大人と違って かけの内容よりも「誰の言葉か」を重視しが

るのか等、

うまく回っていない校舎では生徒

生徒は言葉を発しません。映像授業を見てど

ては特に注意しています。

映像を見る分には

ます。中でも「生徒が話しているか」につい

う感じたか、何を考えているのか、悩みはあ

標とするのはよく聞く話ですが、これも同じ

があまり話さない傾向にあります。

挨拶を指

校舎の運営は順調です。高校生になると人に こと。勉強以外のことも生徒がたくさん話す



対応し、情報発 の塾との合同研修を実施し好評だったため、

りません。

グネットを受講し、勉強していくことで自ら バイスし、自ら行動を起こせる生徒 映像をうまく使いな 大学生や

使っていきたいと思います。

にばかりに注力するとスピー

· ド 感

きないことがあり、

かといって、

も結局、最後は「人」でないとで しています。様々なICTツ 自動化できるとあって大いに期待 在は人の手に頼っているところを 習単元のコンテンツ検索など、

がなかったり、範囲が狭まったり

するため、うまくバランスをとって

ては学校との連携も大切だと思いますが、 導入も予定しています。拡大していくにあたっ 現できるかどうかは微妙なところです。 への進出も検討中です。一方で、 入れする目的もあり豊田市の校舎をリニュー

個別指導で学習を補足し

調整する

なだけでなく、その量が適切だというところ

ウイングネットの良いところは講座が豊富

る受験環境にも即対応豊富で過不足なし!

「人」を育てるための研修にも力を入れてき 提案ができるよう引き続き模索していきます。 うが連携によりお互いにメリットを感じられる 異動が頻繁にある公立高校とは難しいでしょ 「人」の関わる部分を重視するとのことで、 昨年は他県で展開するグループ 傘下

員同士で情報共有や交流ができる 一人で任される社員が孤独を感じな 今年も継続する予定です。 いよう、統括責任者による巡回や社 校舎を

思っています。また、 仕組みも作ろう









備校などに比べて小回りが利きやす

しっかり話を聞いてくださいます。

大手の予 いのが強

慮される保護者の方も真摯に向き合うことで

ンタクトは取るようにしています。

最初は遠

が、安心してもらうため積極的に保護者にコ

イントです。全てを伝える必要はありません

入り、中立に、どちらの味方も

しないのがポ

はいけないと考えています。保護者との間に

TEL.03-3818-8454 wingnet@ichishin.co.jp

者も多いのですが、塾と生徒だけで完結して 度大人だから」と子ども任せにしている保護 いと思っています。高校生だと「もうある程